

## 【特別寄稿】桐技会 会報 No. 11

## 筑波大学 医療科学類同窓会 『桐技会』 卒業生からの「近況報告」



## 「近況報告」 沖田結花里

時が経つのは早いもので7年も前になりますが、私は医療科学類の2期生として筑波大学に入学しました。医療科学を卒業後、本学大学院修士課程フロンティア医学専攻に進み、現在は、博士課程生命システム医学専攻に在籍しています。医療科学類を卒業し臨床検査技師免許を取得することができましたが、今は基礎医学の研究者を目指して勉強・研究をしています。

高校生の頃から研究者という職種にある種の憧れを感じていたのですが、まさか本当に博士課程に進学し、研究者を目指すことになるとは・・・正直自分でも驚いています。研究と言うものとの出会いは、言うまでもありませんが、卒業研究です。研究室に配属された当初は、何もかもが初めてのことばかりで、戸惑う毎日でした。でも少しずつ慣れ、自分で結果が出せるようになるに連れて、研究って面白いのではないかと思うようになりました。しかし、博士課程への進学を決意するには、大きな勇気も必要でした。研究は好きだし、面白い、もっとやり

たい、でもそれだけで進学しても良いのだろうか？毎日自問自答を繰り返し、やりたいことをやるのが一番だ、という結論を出すのには、それなりに時間がかかりました。私が研究者を目指したいと思っているのは、世界中で誰も知らない新しいことを発見し、謎を解明していくことに大きな喜びを感じているからだと思います。これから先も様々な困難が待ち受けているのだと思いますが、自分で自分の将来を決め、切り開いていければなと思っています。

博士課程に進学し、変わったことの一つとして、世界と言うものを強く意識し始めたことが挙げられると思います。現在人間総合科学研究科では、海外出張や留学に対する金銭的な援助が受けられるようになっていたり、ベトナムや台湾に行くと現地の学生と交流するようなプロジェクトがあります。私も今年の1月にベトナムに行き、現地の学生と一緒に実験を行ってきました。英語でコミュニケーションをとることは大変で、英語力のなさ、コミュニケーション力の低さを実感した次第です。それでも、お互いに歩み寄りながらコミュニケーションを取ることができ、大変良い勉強になりました。8月には、

国際学会にも出席させて頂く予定で、海外の研究者や学生の方々と直に交流できる絶好のチャンスなのでとても楽しみにしています。将来的には、留学もしてみたいですし、早く一人前の研究者になれるように頑張りたいです。

筑波医療科学 第8巻 第2号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 二宮治彦 有波忠雄
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2011年9月16日